

リサイズ vol.30



イラスト さかいみる

福岡県在住。
2018年4月宗像市に
さかいみる and 絵本deえがお美術館
オープン! 毎週土日12:00~18:00
ホームページ
<http://milart.info>
<http://www.metchaforasmile.com>

広報室だより

新年明けましておめでとうございます。

今年は、天皇生前退位により新しい元号に変わり、消費税も10%になるなど変化を多く感じる年になりそうですね。変わる「歴史」、変わらない「思い出」。そんな時間を大切にしていきたいと思います。



今回の「スマイルフォト」に素敵な笑顔を頂いたのは、アドバイザーの出口が担当させて頂いたM様です。お母様のご自宅に同居をされる事になり、暗いリビングや、使いづらい水廻りの動線のご相談をいただきました。当初は、リフォームという技術や提案にあまり期待していなかったM様。経験豊かな出口の提案に驚き、「こんな事が出来るの?」と大変に喜んでいただきました。キッチンの位置をガラッと変えて光を燦々と浴びるリビングに生まれ変わりました。介護という大変な時間を過ごされるM様ですが、大きく広がる窓から見えるお庭や空など、ご自宅ですら少しでも暖かい思い出を作って頂けたら嬉しいです。今後とも宜しくお願いいたします。

長崎材木店リフォーム事業部 広報室



ピックアップNEWS

まるなサポートクラブ※(以下MSC)会員様へのメニュー改定のお知らせ

日頃より、MSCをご利用いただき、誠に有難うございます。先般MSC廃止のご案内をお届けさせていただきました。その中に、一部メニューの変更のご案内をさせていただいておりましたが、下記のメニュー内容を廃止させていただきます。

平成31年1月より 廃止メニュー

- 除草作業・剪定作業
- キッチンクリーニング
- エアコンクリーニング
- 浴室クリーニング
- レンジフードクリーニング
- トイレクリーニング
- プロペラ換気扇クリーニング
- 窓美装等のクリーニング

今後もメンテナンス課一同、幅広く皆様方のお役に立てますよう日々精進して参りますので、何卒今回の改定にご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

職人紹介 【大工編】



角 俊昭

●プロフィール

私は15才で大工の弟子に入り、47年間大工一筋で頑張ってきました。

●好きな言葉

一日一善

●趣味

メダカを育てる事
ゴルフ

お客様と接していく上で、大切にしていることは何ですか？

現場に行った時、お客様の生活リズムを阻害しないよう確認しながら仕事にあたっています。

自分への約束はありますか？

現場が遠くても余裕を持って出かけ、時間厳守で仕事を始める事です。

第11回 エ스티ナガーデンアワード

金賞

総合部門『金賞』受賞!!!!



今年1番のお庭を決めるコンテストにて金賞をいただきました。託していただいたお客様や関わってくれたスタッフに感謝申し上げます。

これからも、お客様の暮らしに寄り添いながら、心地良い庭空間を創っていけたらと思っています。



平下 美幸



ESTINA

エ스티ナ福岡

☎ 0120-39-5678

定休日／水曜・木曜



ARIZONA
白木の

スタッフ紹介

リフォームアドバイザー
たゆもと
～太夫本 勇さん編～

日々奮闘し続けるスタッフの方を紹介するコーナーです。
今回は元ハンディマンで今年7月に
リフォームアドバイザーになった太夫本さんに密着しました。

今回も
とことん密着させて
いただきます。



ARIZONA 白木

広告会社勤務。『目標は体重10kg減量!!』を掲げて早数年。減量どころか増量中。今度こそ!今度こそは必ず実現します!!

太夫本さんに1日密着



7:35 出社

本日はリフォームアドバイザーの太夫本さんに密着です。



設計士の
ハラさん



経理課の
野上さん



リフォーム部の
アイドル
甲斐さん



スタッフの方と
打合せを兼ね談笑。



現場監督の
中村さん

スタッフの方々が
ぞくぞく出社してきました。



ガーデン部
チーフの
平下さん

みなさんイキイキと
出社してきます。



8:30

月曜日は
毎週グループ全体の
会議です。



8:00

川津大工と本日の現場の打合せ。



9:30

宗像市のY様邸で
お風呂工事の立ち会い。



川津大工と間違いのないように
一つ一つ確認していきます。



10:30

福津市のM様邸で
クロス工の確認。



自分でやって
空いた時間で少しでも
他の現場をまわ
りたいんです。

元ハンディマンの腕を生かし、
自分でとりつけ作業をします。



11:20

古賀市のH様邸で
施工者と塗装工の打合せです。



どこでも元ハンディマンの
経験を生かし、自分の目で見て
判断していきます。

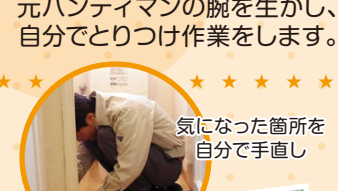


12:30

宮司のN様邸の
塗装工事の現場確認。



気に入った箇所を
自分で手直し



15:20

赤間にてお見積り提出後、
福津市K様邸の施工確認。



16:00

西福岡の増改築のN様邸の
増改築工事の現場確認。



ハンディマン時代の
太夫本さん

17:00

元職人の経験を
生かした営業のやり方に
感銘を受けた一日でした。



工事課の
田中さん





RENOVATION CASE

家族の風景で彩る、 「おばあちゃんの納屋」

見る景色、過ごす時間、感じる幸せ。
家族との思い出に想いを馳せながら
おばあさまの納屋を住空間へと再生させた1邸。
フルリノベーションだから叶えられたことを伺いました。

Kitchen

「GRAFTEKT (グラフテクト)」の
アイランドキッチン。「Miele」の食
洗機がびったりハマり、重厚感のあ
る色合いが素敵。奇跡的なタイミン
グでご夫妻待望のカラーが発売さ
れ、即決でオーダー！

リノベーションを 選んだ理由は？

おばあさまを介護しながらの
同居暮らし。使いにくい間取
りと手狭な空間に限界を感じ
て、母屋の改築から検討を
開始。最終的に、納屋も一
緒にフルリノベすること!



○Kitchen & Dining

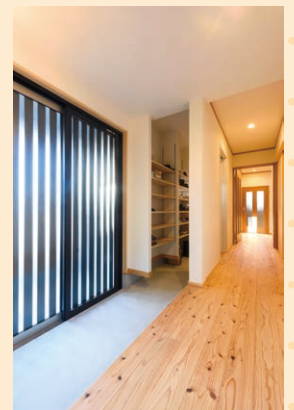
“本物のビンテージ”を表現する赤
褐色の鉄骨が海外風のかっこいい
ムードを与え、空間の大事な役割を
担っている。「ぼっと和める場所が
できて嬉しい」と奥さま

昔の思い出と、今の暮らし
どちらも大切だから。



BEFORE

特に納屋は、外観も見違え
るほどカッコいい姿に変身。
夜のムード溢れる佇まいに
うっとりさせられる



RENOVATION ORDER
わが家のこだわり 1
母屋と納屋を繋げ
広い住まいに再生
玄関の廊下を伸ばし、母屋
と納屋を合体!それによって
玄関が以前の倍の広さにな
り、大容量のシューズクロ
ックも完備できた

主役の納屋が蘇るきっかけは
もったいない!の一言だった

Iさん一家は家族4人、リノ
ベーションした納屋跡と母屋で暮
らしている。見所は何といっても、
築35年の納屋跡を使ったLDKだ
ろう。ここは長年農業をされてい
たおばあさまが農機具置き場とし
て使っていた思い出の場所であり、
Iさんご夫妻の想いと感動のエピ
ソードが刻まれた空間だ。

現在98歳のご主人のおばあさま。
ご主人を手塩にかけて育て上げ、
ずっと元気に畑仕事をされていた
そう。ところが2年前に体調を崩
し、足が不自由になって車椅子生
活を余儀なくされた。そんなおば
あさまを介護するために、Iさん
一家は母屋で同居していたが、部
屋の手狭感、動線の悪さ、暑さ・
寒さの室内環境を改善したいと、
母屋のリノベーションを検討した
ことが始まりだった。

ご夫妻の中では、改築は母屋だ
けで、納屋は解体し、庭にする案
もあった。けれど「長崎材木店」
の設計担当・八川さんから「もっ
たいない」と待ったの声。「納屋を
メインにリノベーションして、納
屋と母屋を繋げてみてはどうか」
という思いもよらない提案が!
「おばあちゃんの古い納屋を住
空間にするなんて、考えもしませ
んでした」とご主人は語る。



○Living

総二階だった納屋の骨格はそのまま、半分以上を吹き抜けにし、壁や床を張り替えて大幅にリノベーション。おばあさまが大切にしていた庭の植栽も、きれいに伐採・剪定を行ない、リビングからゆったり眺められるようにした



ショップ「アプテカ」全景。イタリアや地元・福津市の加工品や手作り雑貨も並ぶ。厨房との間を仕切るガラスにはその日のメニューを書いて、楽しい雰囲気を演出

以前はキッチンが孤立した間取りだったけれど、今では家族と同一空間で食卓の準備ができて、奥さまは大喜び。2階から1階を眺めると、吹き抜けのスケール感のすごさに感動…!

リノベーションだから叶う
語り継がれる思い出たち

設計担当の八川さんはこう語る。
「普通なら取り壊すかもしれない古い納屋ですが、良い建物だと感動したんです。例えば、年季の入った鉄骨。おばあさまが汗水垂らして作業していたバックボーンが空間の奥深さとなって醸し出され、これを新築で表現するのは不可能なんです。だからこそ、この場所を再生させたいなと」。

フルリノベーションの場合、解体作業や断熱材などの機能補填はもちろん、レイアウトとデザインにもこだわると、だんだんコストがかさんでいく。I邸も同様で、費用面に限界を感じ、諦めて新築の建て替えにしようと思いついたという。けれど、悩んだ末に行き着いた答えは「お金じゃない」。

「リノベーションの良さは、見た目だけではありません。家族の思い出と記憶が建物にしっかりと残っていて、そのエピソードを子や孫に語り継ぐことができるんです」と八川さん。実際にIさんご夫妻も、庭を眺めるだけで、庭いじりをするおばあさまの姿が目につかぶと話す。この納屋跡もそうだ。農機具や手押し車が置かれていた場所を思い出したり、お漬物の匂いを懐かしんだり、昔の名残を感じられるのが嬉しい。

家族の絆も強く、太く
笑顔いっぱい我が家。



納屋らしさを生かし、薪ストーブの前で寛げる土間スペースを設けた。「屋外にのちのウッドデッキを設けたいですね」とご夫妻



納屋跡の2階にはお子さまのカウンターデスクを設置。床や天井も無垢材なので、年々風合いが増し、昔からあるパーツとじっくり馴染んでいる



RENOVATION ORDER
わが家のこだわり 2
列車が横切ると
子どもたちが大興奮
目の前が線路とあって、2階の窓から列車が通る様を眺められる。これは他では味わえない、1邸ならではの特別なシーン!



母屋と納屋を繋げたことで廊下が伸び、子どもたちが思いっきり遊び回れる環境に。洗面所にはタイルを張り、小洒落た雰囲気演出している

積み重ねてきた愛情に
温かく包み込まれる場所

おばあさまにとって思入れがある農機具の納屋を中心に、大事にしてきた庭や母屋を、大々的に手を加えることについて、ご主人的には「祖母に怒られないか」と心配だったという。そんな不安をよそに、状況はいい方向に動いた。

今年の8月、I邸のリノベーションが完成。少し前から施設に移っていたおばあさまがお盆期間中に一時帰宅することになり、納屋跡の新住居に初訪問したときのこと。玄関先にはこれまでなかった廊下が伸び、目新しい扉を開くと、初めて目にする大スケールのLDKが広がっている。「ここはどこね?」とおばあさまは驚きながらも、「わああーよかねえ」と喜んでくれたという。その光景は、ご夫妻にとっても忘れられない感動的なワンシーンとなった。

「本当に納屋を生かして良かった。またここでおばあちゃんと一緒に暮らしたいです」とご主人。生まれ変わったI邸で、一家三代が穏やかに暮らす日がこれからの楽しみだ。

ちなみに、奥さまが裏話を教えてくれた。リノベーション完成後のある晩、ご主人がリビングルームでひとり、嬉し涙をこぼしたそう。きついろいろな情景と喜びがこみ上げたのだらう。胸を熱くさせる「家族の風景」がこの場所にしつかりと刻まれ、これからもIさん一家の絆となっていく。



LDKがあった母屋の空間は、今後寝室に変わる。そちらの空間演出も楽しみ!



ご主人は小学生時代からF1レーサーを志し、高校卒業後に海外メーカーのサポートを受け渡仏するなど、カーレーサーとして活躍された方



ブログ便りコーナー 《お役立ち情報盛りだくさん!》

お庭人工芝貼り工事 《ハンディマン 江崎》

古賀市のお住まいのH様は、年齢を重ねて最近お庭のお手入れが苦痛になってきました。草ぬきなど中々の重労働です。そこでご相談を頂き、40㎡程のお庭に人工芝を貼りました。一旦掘削して地面をならし防草シートを敷いて、人工芝にしました。工事は二日で完了です。これからは、H様の体への負担も少なくなると喜んで頂きました。毎日の生活が、きっと楽になるリフォーム。色々と

ご不便な事間かせてください。お役に立つご提案させていただきます。



before



after



外壁一部塗装工事 《ハンディマン 飯川》

宗像市にお住まいのS様より、予算を余りかけず外壁の一部を補修したいとのご相談を頂きました。傷んでいる箇所を剥がして、下塗りと上塗りと二回補修塗装します。既存の外壁塗料と合わせるのが、プロの技術です。一時間程度の作業時間で完了しました。大切なご自宅を雨風で守る外壁です。早い時期に手をいれてメンテナンスして行くことが重要です。「あれ？」って思う所があれば、お気軽にお声掛けください。ご予算やご希望をしっかりと受け止めてご提案させていただきます。



before



after

メンテナンス課

☎0120-30-0537

編集後記

本年もご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

おはようございます。長崎材木店の長崎です。師走も押し迫り忘年会シーズン真っ只中、記事を書いております。

2018年は事務所の増築工事も完了し全事業部、ワンフロアに集まり仕事をできる体制を整えて、仕事の厚みが出てきたと感じた年でした。



さて2019年は元号が変わる特別な年、私たちに於きましても、3月に福岡南スタジオの出店、グリーン&ガーデンショップのお店のオープンと新しい企画が目白押しです。そこでちょっとグリーン

&ガーデンショップのご紹介。もともと、不動産部が使っていた事務所を現在、リノベーション中でしてこちらにインテリアグリーンと雑貨を扱うお店を作っている最中で、隣接している築120年の蔵をカフェとしてリ

ニューアルオープン、また焙煎機を置きまして生豆の販売、その場で焙煎ができるようにと考えております。蔵の中では、『ふっ』とくつろぎながらアナログのレコードを聴いたり、コーヒーを楽しんだり、お庭やお家の相談が気軽にできる場所となる予定です。場所は本社から徒歩で5分ほどの目と鼻の先です。オープンは3月もしくは4月頭と考えております。近くなりましたらまたみなさまにご案内させて頂こうと考えております。ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



最後に本年もありがとうございました。来年もご愛顧のほどよろしくお願い致します。皆様においても良い新年をお迎えくださいませ。〈拝〉

代表取締役 長崎 秀人

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

福岡県古賀市天神5-10-5

☎0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208 <http://www.howsetop.com>

支店

- ◎本社総合展示場
- ◎福岡西展示場
- ◎福岡南展示場
- ◎(株)長崎材木店リアルエステート
- ◎ランドシップカフェ

事業部

- ◎注文住宅事業部
- ◎ログハウス事業部
- ◎リフォーム事業部
- ◎不動産事業部
- ◎ガーデン事業部
- ◎薪ストーブ事業部